小学校６年　算数　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	技能	知識･理解	数と計算	量と測定	図　形	数量関係	
＋10％ より高い	1	0	0	1	0	0	0	1
±10％ の範囲内	3	3	6	5	5	1	1	１２
－10％ より低い	3	3	1	1	1	2	3	7
計	7	6	7	7	6	3	4	２０

（２）考察

①　全体について

ア　20問中14問が設定通過率の「±10%の範囲内」または「＋10%より高い」ところにあり、学習状況はおおむね良好である。

イ　観点別に見ると「考え方」や「技能」、領域別に見ると「数量関係」にやや課題が見られる。

②　成果

ア　学習指導要領で移行された点対称な図形の理解について、習熟が図られている。

イ　分数の乗法の意味理解について、少しずつ改善が図られている。

ウ　規則性を見いだし、問題を解決する過程を説明することについて、改善が図られている。

③　課題

ア　円柱の見取り図と展開図を関連付けて考えることに課題が見られる。

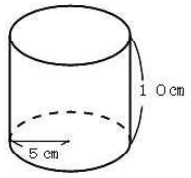
イ　円グラフの割合を基にして考えることに課題が見られる。

（３）今後の指導

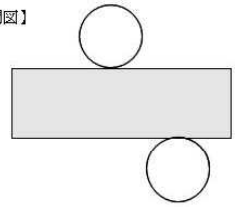
ア　円柱の見取り図と展開図を関連付けて考える学習活動の充実を図る。

次のように，底面の半径が３cm，高さが８cmの円柱があります。なおこさんは，工作用紙でこの円柱をつくるために【展開図】をかきました。

この展開図の色をぬった部分（　　）の面積を　　の中に書きましょう。　(10



【展開図】



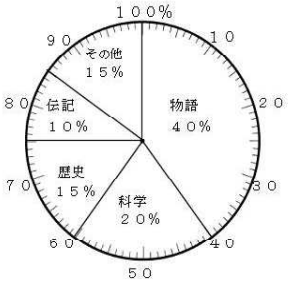
・見取り図から展開図を正確にかいたり、かいた展開図から円柱を実際に組み立てたりする活動を大切にしたい。その際、円柱の側面の形は長方形になることや、長方形の横と底面の円周の長さは等しくなることについて実感を伴って理解できるようにしたい。

・円の面積や円周などを求める際、立式するだけでなく、言葉の式を補うなどして、式の意味を振り返る場を設定して指導することが大切である。

イ　割合に関する意味理解を図るための算数的活動の充実を図る。

あきらさんの学校の図書室で，１１月に貸し出した本の数は全部で７２０冊でした。１１月に貸し出した本を種類別に分類し，円グラフに表したところ次のようになりました。貸し出した本のうち，物語と歴史の本は合わせて何冊になるでしょうか。求める**式**と**答え**を，　　の中に書きましょう。　(17

11月に貸し出した本の種類別の割合



式

答え　　冊

・（基準量）×（割合）＝（比較量）という言葉の式を覚えるだけではなく、数直線や線分図などに数量を表して、基準量、比較量、割合の関係を調べる活動を取り入れ、それらの数量の関係を捉えられるようにすることが大切である。

・日常生活の中で百分率が用いられている場面を探すなどの活動を充実させるとともに、それらが何を基準量としているかを考える活動を取り入れることも効果的である。

・他の領域においても、数直線や線分図などを用いて、基準量、比較量、割合の関係を捉えられるよう指導したい。